

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2011-239528 (P2011-239528A)
 【公開日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-047
 【出願番号】特願 2010-107455 (P2010-107455)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

定められた複数の計測期間毎に計測される需要電力の実績値のうちで最大となる前記需要電力の目標値が予め定められて記憶される目標値記憶部と、

前記複数の計測期間のうち前記実績値の計測対象である計測対象期間における前記実績値の計測が開始される時点より前の時点で、前記計測対象期間における需要電力の予測値を算出する予測値算出部と、

前記予測値算出部によって算出された前記予測値と、前記目標値とを比較して、前記予測値が前記目標値を超える場合、前記予測値と前記目標値との差を算出する予測差算出部と、

前記予測差算出部によって算出された前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力する電力制御部と、

を備えることを特徴とする需要電力制御装置。

【請求項 2】

前記計測対象期間において、前記需要電力の実績値を計測する計測部と、

前記計測部によって計測された前記実績値と、前記目標値とを比較して、前記実績値が前記目標値を超える場合、前記実績値と前記目標値との差を算出する実績差算出部と、を備え、

前記電力制御部は、前記実績差算出部によって算出された前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の需要電力制御装置。

【請求項 3】

前記計測期間に計測される前記需要電力は、複数の設備機器の需要電力の合計であり、前記差に応じて予め定められた優先順位と、前記複数の設備機器のうち需要電力を減少させる設備機器とが対応付けられて予め記憶されている優先順位記憶部を備え、

前記電力制御部は、前記差に応じた前記優先順位に対応付けられた前記設備機器における需要電力を減少させる指示を出力する

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の需要電力制御装置。

【請求項 4】

定められた複数の計測期間毎に計測される需要電力の実績値のうちで最大となる前記需

要電力の目標値が予め定められて記憶される目標値記憶部を備えた需要電力制御装置が、前記複数の計測期間のうち前記実績値の計測対象である計測対象期間における前記実績値の計測が開始される時点より前の時点で、前記計測対象期間における需要電力の予測値を算出するステップと、

算出した前記予測値と、前記目標値とを比較して、前記予測値が前記目標値を超える場合、前記予測値と前記目標値との差を算出するステップと、

算出した前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力するステップと、

を備えることを特徴とする需要電力制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上述した課題を解決するために、本発明は、定められた複数の計測期間毎に計測される需要電力の実績値のうちで最大となる前記需要電力の目標値が予め定められて記憶される目標値記憶部と、前記複数の計測期間のうち前記実績値の計測対象である計測対象期間における前記実績値の計測が開始される時点より前の時点で、前記計測対象期間における需要電力の予測値を算出する予測値算出部と、前記予測値算出部によって算出された前記予測値と、前記目標値とを比較して、前記予測値が前記目標値を超える場合、前記予測値と前記目標値との差を算出する予測差算出部と、前記予測差算出部によって算出された前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力する電力制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、本発明は、前記計測対象期間において、前記需要電力の実績値を計測する計測部と、前記計測部によって計測された前記実績値と、前記目標値とを比較して、前記実績値が前記目標値を超える場合、前記実績値と前記目標値との差を算出する実績差算出部と、を備え、前記電力制御部は、前記実績差算出部によって算出された前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、本発明は、前記計測期間に計測される前記需要電力は、複数の設備機器の需要電力の合計であり、前記差に応じて予め定められた優先順位と、前記複数の設備機器のうち需要電力を減少させる設備機器とが対応付けられて予め記憶されている優先順位記憶部を備え、前記電力制御部は、前記差に応じた前記優先順位に対応付けられた前記設備機器における需要電力を減少させる指示を出力することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

また、本発明は、定められた複数の計測期間毎に計測される需要電力の実績値のうちで最大となる前記需要電力の目標値が予め定められて記憶される目標値記憶部を備えた需要電力制御装置が、前記複数の計測期間のうち前記実績値の計測対象である計測対象期間における前記実績値の計測が開始される時点より前の時点で、前記計測対象期間における需要電力の予測値を算出するステップと、算出した前記予測値と、前記目標値とを比較して、前記予測値が前記目標値を超える場合、前記予測値と前記目標値との差を算出するステップと、算出した前記差に応じて、前記計測対象期間における前記需要電力を減少させる指示を出力するステップと、を備えることを特徴とする。